

Ⅱ 令和4年度予算案の概要

(2月15日に記者発表、2月22日からの令和4年守山市議会定例会に提案予定)

1 令和4年度予算案の概要

(1) 令和4年度の重点施策①

新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種の継続

新型コロナワクチン接種事業を継続して実施し、5歳から11歳までの小児接種や3回目の追加により、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防し、まん延の防止を図ります。
また、新型コロナウイルス感染症対策事業を継続し、感染症予防と経済活動の両立を図ります。

自治体DXの徹底的な推進とICT化の促進

守山市版DX推進方針に基づき、令和5年9月に供用開始となる新庁舎整備に合わせICTを活用した「窓口のスマート化」を推進するなど、各部署でのDX（業務プロセスの再構築、など）に取り組むとともに、国が進めるオンライン化や標準化などにも着実に対応し、「誰一人残さない、人にやさしいデジタル化」を推進します。

👉 次の4つの重点施策の柱に基づく施策を展開し、豊かな田園都市を目指した基盤づくりを行います。

I 安心な子育て環境・教育の充実と次世代育成の推進

子どもの通院費医療費助成を小学校6年生まで拡充するなど子育て支援の充実を進める中、保健・福祉・教育が横断的に連携した施策に取り組むとともに、自校方式を活かした中学校給食の全校実施や返還免除型奨学金の創設を行い学校教育の充実に取り組みます。

- ①子どもの医療費助成の拡充（小3まで→小6まで）
- ②待機児童対策等の継続（保育士等処遇改善市独自加算、玉津児童クラブ室増築整備等）
- ③自校方式による全中学校での給食開始（令和4年9月開始）
⇒県内13市のうち自校方式による全校実施は本市のみ
- ④教育支援体制の充実（返還免除型奨学金の創設（1人月3万円、最大15人対象）等）

ポイント

（１）令和４年度の重点施策②

Ⅱ 高齢者・障害者等が安心して生活できる環境の充実

地域共生社会を実現するため、世代や属性を超えた包括的支援体制を構築して、高齢者・障害者・生活困窮者等の支援の充実を図るとともに、第８期高齢者福祉計画・介護保険事業計画やもりやま障害福祉プランに基づいた事業を実施していきます。

- ①重層的支援体制の充実 ②子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨およびがん患者等への支援
- ③介護施策の充実（認知症高齢者等個人賠償責任保険事業等）
- ④介護施設の充実（小規模多機能型居宅介護施設の整備等）
- ⑤障害者支援の充実（放課後等デイサービス事業給付、障害者施設の新設支援等）

ポイント

Ⅲ 「豊かな田園都市」を目指したまちづくり

市制施行50周年を契機とし、次の50年先を目指すまちの姿「豊かな田園都市」に向けた事業の推進、市民活動の支援のための新たな枠組みの創設や、環境学習都市宣言の具現化などの実施により持続可能なまちづくりを進めます。

- ①ふるさと納税を活用した豊かな市民活動応援事業
- ②文化・スポーツの推進（北部図書機能・コミュニティ機能整備、外遊び・市内ウォーキングマップ作成等）
- ③環境学習都市宣言の具現化 ④地域交通の充実 ⑤起業・創業支援
- ⑥JR 守山駅東口における新施設整備 ⑦市内産業への支援

ポイント

Ⅳ コロナへの万全な対応と信頼される市政運営

新型コロナウイルス感染症対策について継続して行います。また、「自助・共助・公助」の連携による災害に強いまちづくりを進め、地域防災の要である消防団員の処遇改善を行います。

また、新庁舎整備事業についても災害に強く市民の安全・安心を支える庁舎となるよう令和５年供用開始に向け事業を着実に進め、市民から信頼される市政運営を行っていきます。

- ①防災体制の充実強化（消防団員処遇改善（団長等5,000円、団員8,000円の増額）等）
- ②新庁舎整備事業（新庁舎「つなぐ、守の舎」の整備）

ポイント

(2) 当初予算案の規模

		令和4年度	令和3年度	増減額	対前年度比率	参考：令和2年度 (過去最大予算)
予算総額		54,590,046	49,603,528	4,986,518	10.1%	54,674,963
内 訳	一般会計	33,980,000	28,800,000	5,180,000	18.0%	34,180,000
	通常事業	28,755,205	27,269,757	1,485,448	5.4%	26,280,383
	大規模事業	4,692,492	1,419,298	3,273,194	230.6%	7,899,617
	コロナ対策	532,303	110,945	421,358	379.8%	0
	特別会計	13,583,700	13,530,500	53,200	0.4%	13,500,800
	公営企業会計	7,026,346	7,273,028	▲ 246,682	▲ 3.4%	6,994,163

※公営企業は、収益的収支と資本的収支の合計です。

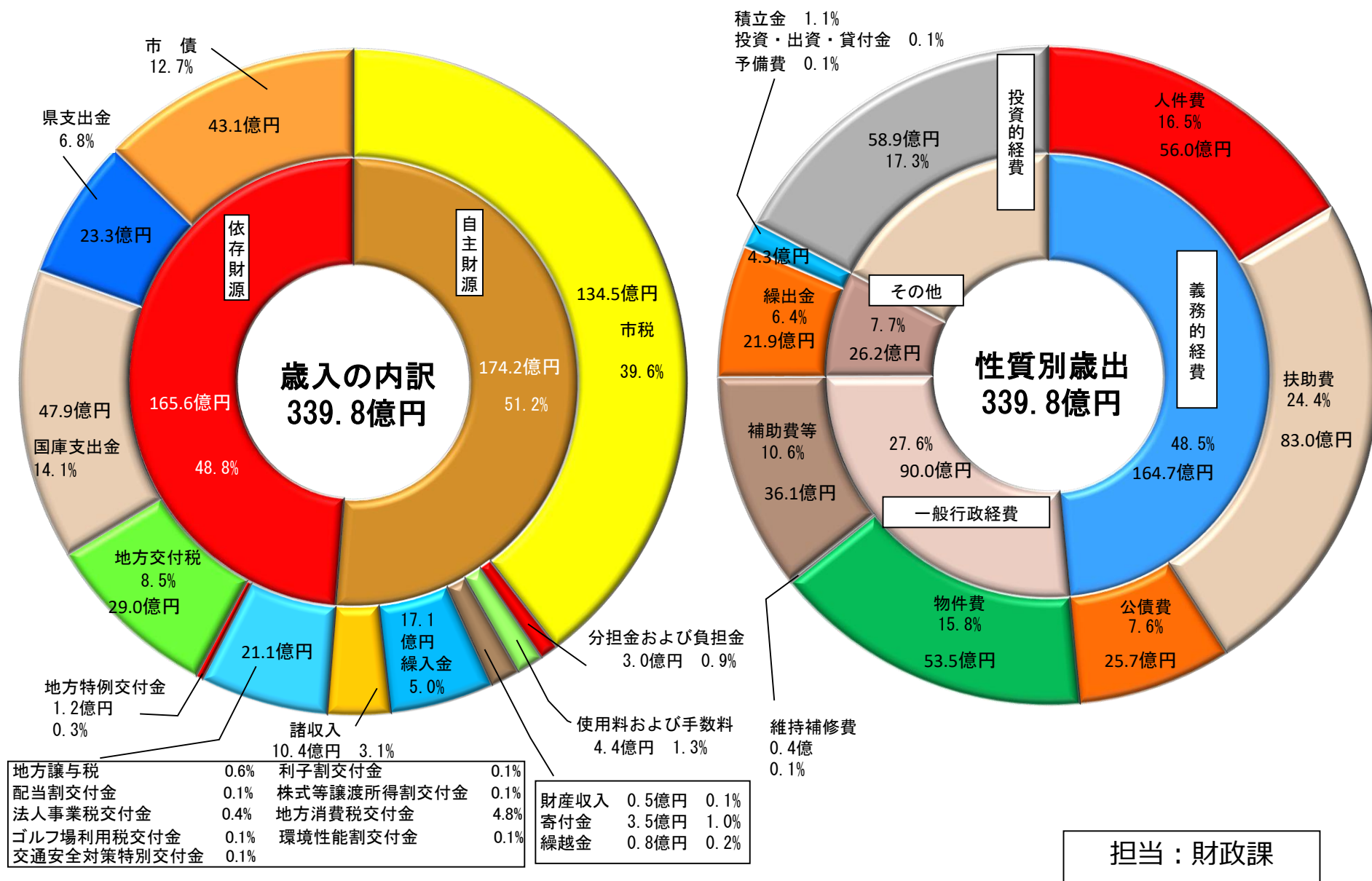
■ 国の補正により前倒して実施する3月補正（北部図書機能・コミュニティ機能整備事業、伊勢遺跡整備事業など）と合わせた場合の予算規模

当初：339.8億円 + 3月補正分：約8.9億円 ⇒ 約348.7億円

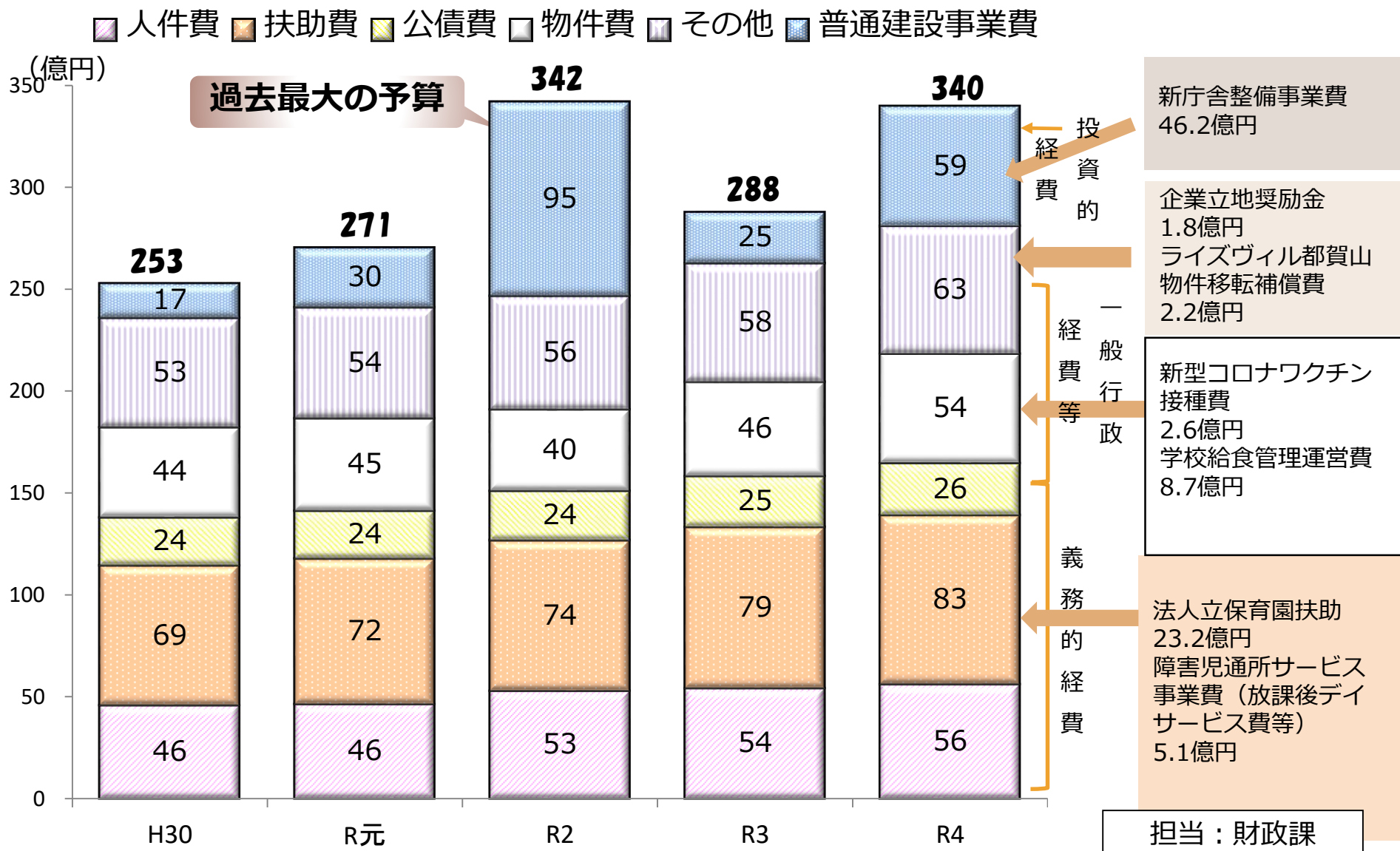
大規模事業46.9億円の事業 新庁舎整備事業（45.9億円）、すこやかセンター大規模改修事業（0.8億円）、環境センター解体事業（0.2億円）

担当：財政課

(3) 歳入歳出の内訳 (一般会計)



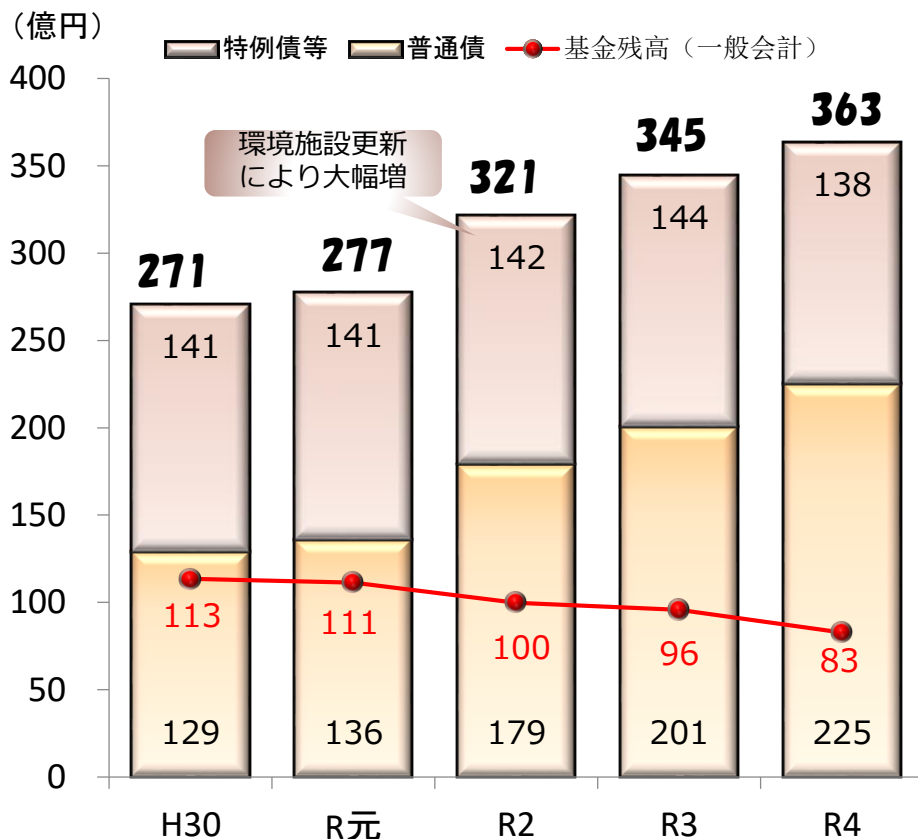
(4) 当初予算額の推移



(5) 市債および基金残高の推移 (一般会計)

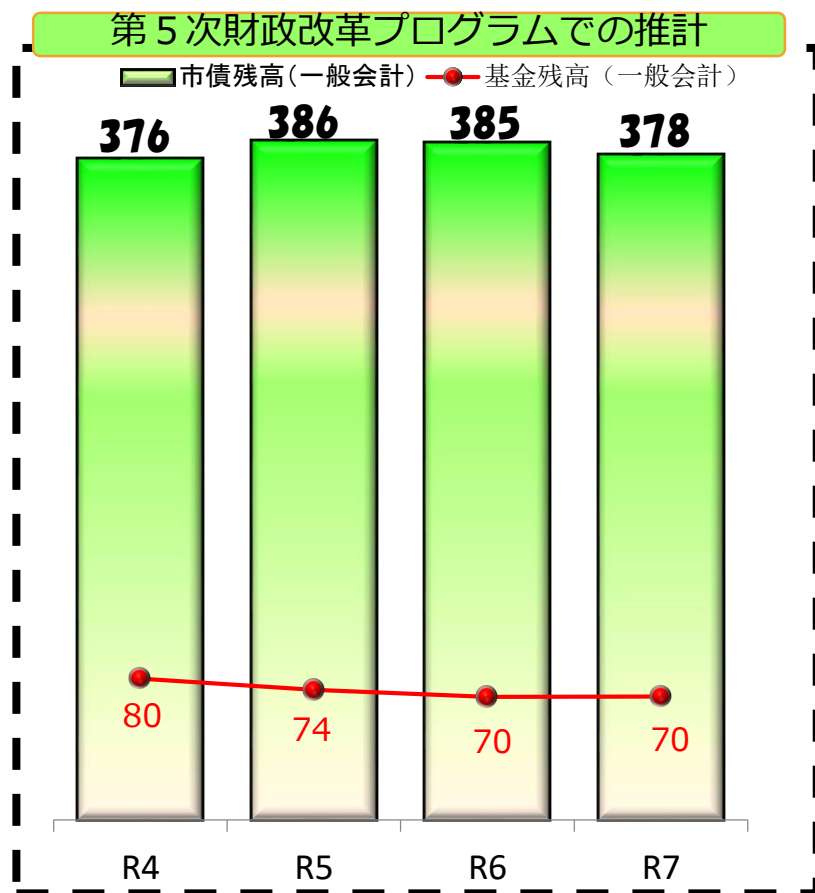
市債残高は、環境施設更新事業の影響により令和2年度で大きく増加し、新庁舎整備事業などにより今後も増加が見込まれます。

また、基金については、従前から計画的に積み立ててきた基金を新庁舎整備事業に充てることから、減少する見込みですが、第5次財政改革プログラムで定めている基金残高70億円の水準を下回らないよう適切な財政運営を実施していきます。



※令和3年度は決算見込額。

※令和4年度は当初予算に基づく年度末現在高見込額。



担当：財政課